



鈴木邁先生・その足跡を辿る

青木弘行

平成23年12月17日、本学会元会長・名誉会員の鈴木邁先生が83年の生涯を閉じられました。

平成24年3月31日、東京ガーデンパレス・高千穂の間において「お別れの会」が挙行されました。当日は、あいにくの悪天候にも関わらず、北は北海道、南は九州から200名近い参加者が集いました。全員が献花を終えた後、東北工業大学名誉教授・吉田旺弘氏の司会進行のもと、千葉大学名誉教授・放送大学千葉学習センター所長の宮崎清氏から「追悼のことば」、札幌市立大学学長・原田昭氏、東京理科大学学長・藤嶋昭氏から「お別れのことば」を賜り、筑波大学/東北芸術工科大学名誉教授・五十嵐治也氏による「献杯」のご発声により故人を偲んで歓談に入りました。会場では工業意匠学科19回生・井口竹喜氏編集による思い出のスライドが上映され、葬式用にと故人が生前溜込んだお酒が振る舞われ、お人柄や交際範囲の広さを反映して旧交を温める縁の輪が随処に広がりました。後段には千葉工業大学デザイン科学科教授・上原勝氏、会津大学短期大学部名誉教授・後藤忠俊氏、研究室OB代表・菊地紀洋氏から往時を彷彿するエピソードが披露され、親族代表による謝辞で会を閉じました。

先生は、昭和41年4月に東京工業大学資源化学研究所から千葉大学工学部工業意匠学科に赴任されました。奇しくもこの年は、私が入学した年でもありました。この時期は理工系拡大政策を受けて多くの国立大学に修士課程が新設され、文化人類学の大給近達先生、人間工学の菊池安行先生もスタッフに加わり、学科の陣容が強化されました。実技中心と期待して入学しましたが、各先生のお話は既存概念を払拭し、転換期を迎えつつあるデザインの世界を肌で感じながら過ごしました。先生から教えていただいた内容で今でも鮮明に覚えていることは、専門知識以上に、many cutting や multi-disciplinary といったお

話でした。ある一つの側面から物事を検討するのではなく、様々な角度から視点を変えて多面的に把握する、そのプロセスから発想の転換が可能となり、新たな事実の発見に繋がるという内容です。

研究活動においては、東工大時代のご専門を基盤としてデザインにおける材料学の確立を目指し、材料開発や材料物性の解明に取り組みました。その成果の一部は独創的な学術成果を紹介する Developments in Polymer Degradation-5 (Elsevier Applied Science Publishers, USA) に掲載されています(昭和58年)。また、材料開発・材料物性というハード的側面に留まらず、ハードとソフトの融合を目指して「材料計画」という新たな概念を導入されました。なかでも、デザイン材料が有する各種物性値と感覚特性との対応関係を解明した一連の研究は、デザイン学の発展に大きく寄与したものと日本デザイン学会賞を受賞しています(平成2年)。

一方、先生は学術や工学教育の発展・向上にも精力的に尽力されました。日本学会会議において、材料工学研究連絡委員会の中に感性工学小委員会を、人間と工学研究連絡委員会の中に感性工学専門員会を組織し、「感性工学」という新しい学問体系の構築に取り組みました。その成果は、日本感性工学会創設に繋がり、初代会長として精力的な啓蒙・普及活動を展開しました。同時に、文部省や関連諸団体(国立大学協会・大学基準協会・日本工業教育協会・学位授与機構等)が主催する各種委員会の委員を歴任されています。

長年にわたるこれら諸活動は、デザイン学における工学と芸術の融合に尽力した功績として、第13回勝見勝賞受賞(平成12年)の榮譽に浴すると同時に、ご逝去された同日〔正四位・瑞宝中綬章〕を授与されました。

継往開来、先生が辿られた足跡をさらに発展させていくことが後進に課せられた責務であると考えています。先生のご冥福を心からお祈りいたします。

昭和3年	12月12日 会津若松市生まれ
昭和23年	横浜工業専門学校電気化学科卒業
昭和24年	福島県若松市立第一中学校教諭
昭和27年	東京工業大学資源化学研究所助手
昭和41年	千葉大学工学部工業意匠学科講師
昭和45年	教授に昇進
昭和60年	千葉大学評議員
昭和61年	千葉大学学生部長、 日本デザイン学会会長
平成2年	千葉大学工学部長、大学院工学研究科長
平成6年	定年により退官(千葉大学名誉教授)、 千葉工業大学工業デザイン学科教授
平成10年	日本感性工学会会長
平成11年	定年により退官

第5支部活動報告

「第5支部平成24年度研究発表会・懇親会」

第5支部長 伊原久裕

第5支部では、ほぼ定例となった「研究発表会・懇親会」を、平成24年10月27日（土）に、九州大学大橋キャンパス（芸術工学部）で開催しました。この研究発表会は、2005年度より、支部活動の活性化を目指し実施している行事で、第5支部会員だけでなく、デザインに関心のある方が参加できるよう間口を拡げ、大学の枠を越えたデザイン学および関連する領域の広い交流の場と位置づけています。

本年度の発表件数は、口頭発表29件・ポスター発表2件、合計31件、学生作品発表が4件でした。過去最多であった昨年度の発表総数53件と比べると減少しましたが、参加人数は72名と昨年度とほぼ同数であり、全体として盛況でした。口頭発表は、9つのセッションが3会場で実施され、いずれにおいても、活発な議論が交わされました。また、ポスター発表と学生作品発表は、ポスターと作品を前に、発表者が1人ずつ発表していく形式で、これも活発な意見交換がありました。研究発表会終了後に、食堂で恒例の懇親会を開催しました。ここ数年に比べ料理は質素となりましたが、40名程度と数多くの参加者を得て盛況の内に終了しました。なお、研究発表会の発表内容は、「第5支部平成24年度研究発表会概要集」にまとめています。

上：ポスター発表、下：口頭発表



訃報

本学会の名誉会員高梨隆雄先生が、6月にご逝去されました。また、第2地区宮川潤次会員、評議員の氏家良樹会員も今年ご逝去されました。

長年に亘って本学会にご尽力いただいた先生方に、謹んで心よりご冥福を申し上げます。

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAX または

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届」と書き添えて、

事務局までご連絡下さい。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdf にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

献本御礼

◆論文集

平成 24 年度工学教育研究会講演論文集, 公益社団法人日本工学教育協会

◆機関誌

デザイン理論, vol.60, 2012, 意匠学会編
TAMABI News60, 2012, 多摩美術大学

◆社史

JABEE のあゆみ 設立から 13 年, 一般社団法人に本技術者教育認定機構

会告

日本工学会関東支部第 42 回大会開催のご案内

開催概要

テーマ: 共生社会を拓く人間工学

主催: 一般社団法人 日本人間工学会 関東支部 共催: 公立大学法人 埼玉県立大学

期日: 2012 年 12 月 1 日

会場: 埼玉県立大学 (埼玉県越谷市三宮野 820 番地)

大会内容: 12 月 1 日 (土): 企画セッション, 地域公開講座, 一般講演, 関東支部総会, 懇親会, 第 18 回卒業研究発表会

12 月 2 日 (日): 特別講演, 企画セッション, 一般講演

主な日程: 企画セッションの申し込み締切 9 月 7 日 (金)

一般講演申し込み締切 9 月 28 日 (金)

一般講演原稿締切 10 月 12 日 (金)

URL: <http://jes-kanto42.jp>

ワークショップ:

学習・教育到達目標設定法とその達成度評価法

開催日時: 平成 24 年 12 月 8 日 (土)

開催場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス

主催: 日本技術者教育認定機構 (JABEE), 日本工学教育協会 (共催)

お問い合わせ: 日本工学教育協会 築野俊雄 港区芝 5-26-20 建築会館 4 階 Tel 03-5442-1021 Fax 03-5442-0241 E-mail tsukuno@jsee.or.jp

エコデザイン 2012 ジャパンシンポジウム

主催: エコデザイン学会連合 独立行政法人 産業技術総合研究所 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構

開催日程: 平成 24 年 12 月 11 日 (火) -12 日 (水)

● 12 月 11 日 (火): 1 日目 基調講演

基調講演 1

「次世代エネルギーシステムの姿 - 電力の安定供給と環境負荷軽減の両立を目指して -」

浅野浩志 氏 / 東京大学大学院

基調講演 2

「これからのアジア/アジア太平洋と日本」

白石 隆 氏 / 政策研究大学院大学

基調講演 3

「今後のエネルギー情勢とスマートエネルギーネットワークの役割」進士誉夫 氏 / 東京ガス (株)

企画講演

企画 1: IT による環境負荷低減

講演発表者: 望月洋介 氏 / (株) 日経 BP 中村二郎 氏 / 日本電信電話 (株)

企画 2: 建設関係, 空調関係, 都市関係

講演発表者: 山田昌宏 氏 / 矢崎エナジーシステム (株) 小林信郷 氏 / 大成建設 (株) 鈴木道哉 氏 / 清水建設 (株)

企画 3: 大学・研究機関の取り組み

講演発表者: 山際康之 氏 / 東京造形大学 堀 雅文 氏 / (株) 三菱総合研究所 田澤真人 氏 / (独) 産業技術総合研究所 大木達也 氏 / (独) 産業技術総合研究所

● 12 月 12 日 (水): 2 日目 基調講演

基調講演 4

「エネルギーのインターネット～社会システムの自律分散協調系に向けて～」

加藤敏春 氏 / 一般社団法人スマートプロジェクト

企画 4: EcoDesign2011 優秀講演

講演発表者: Helmut Yabar 氏 / University of Tsukuba 中嶋崇史 氏 / (株) 早稲田環境研究所 高本仁志 氏 / (独) 産業技術総合研究所

企画講演

企画 5: 電気, 機器, エコプロダクツ

講演発表者: 加藤利明 氏 / カンケンテクノ (株) 大畑恵一 氏 / (株) アセットウイツ社 矢部雅美 氏 / 東レ (株)

一般講演

セッションタイトル: ・ライフスタイル・材料・製造プロセス・循環型社会・エネルギー・リユース・保全・LCS 全 25 件予定
会場: SEMI ジャパン 11 日: 大島オフィス 12 日: 大島オフィ

ス および JPR オフィス

・大島オフィス：東京都千代田区九段南 4-7-13 大島ビル 5F（1 階は眼鏡店 オグラ）

・JPR オフィス：東京都千代田区九段南 4-7-15 JPR 市ヶ谷ビル 7F（1 階は SMBC 日興証券）

お問合せ先：エコデザイン 2012 ジャパンシンポジウム事務局
特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構

住所：〒113-8656 東京都文京区弥生 2-11-16

一般財団法人 総合研究奨励会内

E-mail：ecodesign2012secretariat@ecodenet.com

JIDA 社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

創立 60 周年記念事業

センター事業：

・記念式典および記念パーティー

11 月 22 日：東京・新宿パークタワーホール

記念すべき年を迎えるにあたり、会員、賛助会員はじめ関係機関、諸団体の皆様をお招きして感謝の意を表すとともに、これからの抱負を表明します。

・デザイン展「ジャパンデザインの基層と先端」11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 1 階ギャラリー 3 インダストリアルデザインと JIDA 60 周年の足跡と現在の活動、今後の展望を展示しこれからの JIDA のプレゼンスを対外にアピールします。

企業展示コーナー「プロが使う先端のデザインツール展」11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 1.5 階デッキ
最先端のデザインツールを紹介し、一般の方々もデザインの現場を垣間見ることができる展示会です。

・JIDA 創立 60 周年記念フォーラム

11 月 27 日：東京・新宿パークタワーホール「ジャパンデザインの基層と先端」をテーマにパネリストと共にこれからのデザインを考えます。

・「60 周年記念事業記録誌」2013 年 6 月刊行予定：年間を通して行われた事業を記録した冊子です。

東エリア事業：

・東日本デザインネットワーク展

11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 1 階ギャラリー 1 前室

東日本に所属するインダストリアルデザイン関連事業の紹介を行います。

・これからの暮らし展

11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 1 階ギャラリー

1

乗物・灯り・素材・道具等、これからの暮らしを形成するデザインを提案します。

・プロと卵のエコデザイン展

11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 3 階オゾンプラザ

2003 年から環境委員会がエコをテーマに開催している展示会です。

・JIDA Junior 展 11 月 22 日～12 月 4 日：東京・新宿パークタワー 7 階リビングデザインギャラリー

2005 年に学生会友が学生ネットワークを構築するためにつくられたグループのこれまでの活動報告と学生から観たこれからの暮らしを展示します。

・セミナー・ワークショップ

11 月 22 日～12 月 4 日随時：東京・新宿パークタワー 8 階セミナールーム

デザインプロセス、デザインビジネス、女性デザイナーの向上等デザインに関するセミナーを開催します。

中エリア事業：

中部ブロック「60 周年事業のキックオフ事業」としてセンター総会と合同開催 6 月

中部ブロック・北陸ブロック 60 周年記念事業支援

60 周年事業の一環としてエリア内交流会開催

西エリア事業：

関西ブロック「3ヶ所で3種のイベント」開催を計画

「若手 JJ」の発表とトーク」の会、「関西文明倶楽部」討論会、「デザインミュージアム」展

西日本ブロック「JIDA 産業デザイン展」

10 月 13 日～12 月 16 日 北九州イノベーションギャラリー

募集案内

ドイツ・イノベーション・アワード

「ゴットフリード・ワグネル賞 2012」募集

日本に縁の深いドイツ人科学者、ゴットフリード・ワグネルにちなんで名付けられたこの賞は、優れた日本の若手研究者の支援と日独間の産学連携を促進することを目的として、技術革新を重視するドイツ企業により創設されました。

次世代の生活の質の向上と豊かさを保障するために、「ゴットフリード・ワグネル賞」は、革新的で創造的な解決策を提案する研究成果を募集します。

応募資格は 45 歳以下の若手研究者で、応募対象は、環境・エネルギー、健康・医療、安心・安全の 3 分野における応用志向型の研究です。

応募対象:下記のいずれかの分野における応用志向型の研究で、現在進行中の研究、または過去 2 年以内に完了した研究成果となります。

・環境・エネルギー ・健康・医療 ・安心・安全

また、下記の産業分野において、ソリューションを提示する研究が対象となります。

・自動車・輸送機器 ・化学品・素材 ・エレクトロニクス・フォトリソグラフィ ・医療機器・診断技術 ・バイオテクノロジー・医薬品 ・ものづくり・製造プロセス・機械 ・エネルギー開発と供給技術（新エネルギーを含む）

応募資格：日本の大学または研究機関に所属する 45 歳以下の若手研究者とします（応募締切日時点）。

賞金：最優秀賞 400 万円（1 件）優秀賞 200 万円（1 件）奨励賞 100 万円（3 件）

副賞として、受賞者には希望するドイツの大学または研究機関に最長 2 カ月間研究滞在するための助成金が授与されます。

応募締切日：2012 年 12 月 9 日（日）必着

お問い合わせ：ドイツ・イノベーション・アワード事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KS ビル 5F

在日ドイツ商工会議所内

Tel：03-5276-8827

Url：<http://german-innovation-award.jp>

催し物

美術にぶるっ！

ベストセクション日本近代美術の 100 年

- ◆主催：東京国立近代美術館，NHK，NHK プロモーション
- ◆会期：平成 24 年 10/16(火)～平成 25 年 1 月 14 日(月)
- ◆休館日：月曜日（12 月 24 日，平成 25 年 1/14 は開館），12/28（金）—平成 25 年 1/1（火祝）
- ◆開館時間：午前 10 時—午後 5 時（金曜日は午後 8 時まで開館）入館は閉館の 30 分前まで

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

会員の移動

◆平成24年度第三回理事会承認 2012.06.22

新入会員 正会員 11名（内外国人3名）

内田 和男	岡村 美好
加藤 大香士	川村 智
高橋 芳文	富田 誠
野田 勝二	松本 徹
KIM MINGUN	Tien-Li Chen
Yoon-Jung Huh	

学生会員 5名（内外国人1名）

筒井 靖典	富澤 綾音
成田 康輔	良知 耕平
Suo miya	

年間購読会員 1件

山谷 自広

退会

正会員 4名

石井 俊行	内藤 郁夫
増田 英之	松本 裕希子

山崎 泰寛

彭 春栄

陳 兵誠

金 釗立

李 貴香

游 博文

退会

正会員 8名

浅井 一宏	奥村 いづみ
北山 雅世	小関 利紀也
澁澤 博之	寺沢 秀雄
中尾根 美沙子	西村 篤

賛助会員 1件

女子美術大学

◆平成24年度第四回理事会承認 2012.10.13

新入会員 正会員 18名（海外会員3名）

浅井 貴也	井上 弘介
上田 香	奥田 稔
鹿野 護	上浦 佑太
久保田 善明	栗山 伴芳
下村 将基	曾和 治好
東矢 恭明	羽藤 広輔
本田 義憲	村田 桂太
渡辺 勇士	MOUGENOT Celine
Kun-Chou Lee	Chi-Sen Hung

学生会員 14名（内海外会員5名）

石川 裕菜	伊藤 紗也香
金子 恵美	川嶋 和樹
清野 則正	堀内 茂浩
松岡 慧	望月 宏祐